

きらり[✨] ✨ ~輝きのある野木の子~



「自ら問い 自ら考え 自ら行動する」

今年度の学校教育目標は、昨年度に引き続き「自ら問い 自ら考え 自ら行動する」としました。この言葉が、今ほど大切に感じられる時代はないかもしれません。

私たちの身の回りには、正解が一つではない問題や、「本当にこれが正しいのだろうか」と考えさせられる課題が数多くあります。社会の変化が激しく、価値観も多様になる中で、誰かから答えを教えられるだけではなく、自分自身で「なぜだろう」「どうしたらよいだろう」と問いを見つけ、仲間とともに考え、探究し、行動していく力が求められています。

現在、月曜日の夜には、ドラマ「サバ缶、宇宙へ行く」が放送されています。見慣れた景色や身近な話題が登場することもあり、毎週かかさず楽しみに見っていますが、何より心を打たれるのは、地域の特色を生かしながら、地域の課題解決や夢の実現に向けて、高校生たちがひたむきに挑戦している姿です。自分たちの「やってみたい」「こうしてみたい」という思いを出発点に、多くの人を巻き込みながら形にしていく姿は、まさに「自ら問い 自ら考え 自ら行動する」姿そのものだと感じます。



また、5月1日には、小浜市の三丁町に「おばま水族館」がオープンしました。空き家を改装し、コンパクトな水槽が並ぶ新しい形の水族館です。学生が一人一つの水槽を担当し、生き物を育て、来館者に魅力を伝えるという、全国的にも珍しい取組です。ここに至るまでには、県立大学の学生たちが中心となり、「地域をもっと元気にしたい」「新しい交流の場をつくりたい」という思いから、企画を考え、アイデアを出し合い、多くの協力者につながりながら開館へとつなげてきました。



どちらの取組にも共通しているのは、「地域の中にあるもの」に目を向け、自分たちなりの問いをもち、それを行動へとつなげていることです。

さて、野木には、どんな「お宝」があるでしょうか。自然、歴史、人、文化、暮らし——。見慣れているからこそ気づいていない魅力が、まだまだたくさん眠っているのかもしれません。保護者の皆さんや地域の方々も、ぜひ教えてください。

子どもたちには、日々の学びや生活の中で、自分なりの「？」を見つけてほしいと思います。そして、友達や地域の方々に関わりながら考え、挑戦し、一歩を踏み出してほしいと願っています。その積み重ねが、未来の野木をつくっていく力になると信じています。

体育大会に向けて

今年度の体育大会は、6月7日（日）に開催予定です。体育大会に向けて、練習が始まりました。校舎や校庭から、元気なかけ声や応援の聞こえます。

今年度の体育大会のスローガンは「仲間とつくる 笑顔の舞台」です。みんなで作り上げる楽しい体育大会にするために、6年生をリーダーとして、がんばっています。ぜひ、当日は声援をお願いします。



低学年ダンスは「最高到達点」



高学年ダンスは「爆裂愛してる」

最近の活動から



5/11（1～3年生）

小浜市の建設会社「直組」で写生をしました。除雪車やクレーン車など、画用紙いっぱいには迫力ある絵が描けました。



5/15（4～6年生）

例年よりも一足早くプールそうじを行いました。ゴミを取り、ブラシで床をこすり、とってもきれいになりました。



5/15（5年生）

たごころ農園さんにお世話になり田植えをしました。水が張られた田んぼに足を入れて、手で苗を植えていきました。

【6月の行事予定】

- 3日（水） 体育大会予行 全校集会
- 7日（日） 野木地区民総合体育大会
- 8日（月） 振替
- 9日（火） 人権教室（1～4年）
- 12日（金） 家庭・地域・学校協議会
- 15日（月） 全校 13:30 下校
- 17日（水） 避難訓練
- 18日（木） プール学習開始
- 19日（金） 税金教室（6年）
- 24日（水） 授業研究会 全校 14:30 下校
- 25日（木） 集金日

学校や子どもたちの様子を「ホームページ」や「Facebook」で紹介しています。右のQRコードよりご覧いただけますので、ぜひご覧ください。



ホームページ



Facebook